

え!? 8人に
1人が.....

あなたも 慢性腎臓病(CKD) の予備群かも知れません。

腎臓は血液中の老廃物を体外に出し、きれいにしてくれる大事な臓器です。この機能が低下すると「慢性腎臓病(CKD)」となり、このCKD患者さんは今や1300万人を超えています。CKDの初期は、自覚症状がなく知らないうちに病気が進行していることがあります。これには生活習慣が深く関わっているため、生活習慣の改善や薬物療法により進行を防ぐことができますが、その重要性が十分に理解されていません。そこで、今回CKDセミナーを開催してより多くの方の健康に役立てていただきたいと思います。ぜひご参加ください。

主催 / 一般社団法人 全国腎臓病協議会、一般社団法人 愛知県腎臓病協議会、バイエル薬品株式会社、公益財団法人 日本腎臓財団 共催 / 朝日新聞社広告局 後援(順不同) / 愛知県、名古屋市、日本医師会、愛知県医師会、名古屋市医師会、日本病院会愛知県支部、愛知県病院協会、愛知腎臓財団、日本腎臓学会、日本透析医学会、日本臨床工学技士会、日本腎不全看護学会、日本栄養士会、日本薬剤師会、日本腎臓病薬物療法学会、J-CKDI、腎臓サポート協会

日時
会場

2014年 10月26日(日) 13:30~15:30(開場12:30) 名古屋大学豊田講堂

名古屋市千種区不老町
交通 / 地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車すぐ



慢性腎臓病予防を啓発するイメージキャラクター「そらまめくん」

第1部 講演

「ストップ慢性腎臓病(CKD)
— 早期発見と身近な対策 —」
渡邊 有三 先生 (春日井市民病院 院長)

「慢性腎臓病対策は生活習慣の見直しから!」
市川 和子 先生 (川崎医科大学附属病院 栄養部 部長)

慢性腎臓病

(CKD:Chronic Kidney Disease)とは?

CKDは最近注目されている新しい病気概念で、糖尿病や高血圧などが原因となって腎障害を示す所見(タンパク尿)や腎機能の低下が慢性的に続く状態のことです。放置すると末期腎不全になり、人工透析や腎移植が必要になります。心筋梗塞や脳卒中などになりやすいこともわかっています。初期の頃は自覚症状がなく、早期発見のためには尿検査や血液検査が必要です。

第2部 パネルディスカッション

パネリスト / 渡邊 有三 先生
市川 和子 先生
平野 レミ さん
(料理愛好家・シャンソン歌手)
コーディネーター / 西沢 邦浩 氏
(日経BP社ビズライフ局 プロデューサー)



渡邊 有三 先生



市川 和子 先生



平野 レミ さん